

2025年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2 年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。

当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。

(2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2025 年度昼間部 2 年 鉄道科鉄道・交通サービスコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	6	8	2	3	19
	専門科目	20	21	17	14	72
合 計		26	29	19	17	91

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

1年前期					1年後期				2年前期				2年後期							
科目名		区分	単位	時間数	科目名		区分	単位	時間数	科目名		区分	単位	時間数	科目名		区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15												
	キャリアデザインⅠ	講	2	30	キャリアデザインⅡ	講	5	75												
	ビジネスコミュニケーションⅠ	講	1	15												ビジネスコミュニケーションⅡ	講	1	26	
	パソコンⅠ	演	1	15	パソコンⅡ	演	1	15	パソコンⅢ	演	1	26	パソコンⅣ	演	1	26				
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	26				
小計			6	90	小計			8	120	小計			2	52	小計			3	78	
必修科目	鉄道基礎Ⅰ	講	2	30	鉄道基礎Ⅱ	講	3	45	鉄道基礎Ⅲ	講	2	52								
	鉄道業務実務Ⅰ	演	3	45	鉄道業務実務Ⅱ	演	2	30	鉄道業務実務Ⅲ	演	2	52	鉄道業務実務Ⅳ	演	3	78				
	鉄道イベントプロモーションⅠ	演	2	30	鉄道イベントプロモーションⅡ	演	2	30	鉄道イベントプロモーションⅢ	演	2	52	鉄道イベントプロモーションⅣ	演	2	52				
	時刻表実務Ⅰ	講	2	30	時刻表実務Ⅱ	講	2	30	時刻表実務Ⅲ	講	1	26	SPT	演	1	26				
	自己表現Ⅰ	演	1	15	自己表現Ⅱ	演	1	15					自己表現Ⅲ	演	1	26				
	国内観光資源Ⅰ	講	2	30	国内観光資源Ⅱ	講	2	30	国内観光資源Ⅲ	講	1	26	国内観光資源Ⅳ	講	1	26				
	国内管理者対談講座Ⅰ（国内旅行実務）	講	2	30	国内管理者対談講座Ⅱ（国内旅行実務）	講	2	30	国内管理者対談講座Ⅲ（国内旅行実務）	講	2	52								
	国内管理者対談講座Ⅱ（観光・約款）	講	1	15	国内管理者対談講座Ⅲ（観光・約款）	講	1	15	国内管理者対談講座Ⅳ（観光・約款）	講	1	26								
	観光業界ガイドⅠ	講	1	15	観光業界ガイドⅡ	講	2	30	社会人教養Ⅰ	講	1	26	社会人教養Ⅱ	講	1	26				
	鉄道CS接客演習Ⅰ	講	1	15	鉄道CS接客演習Ⅱ	講	1	15	手話講座Ⅰ	演	1	26	手話講座Ⅱ	演	1	26				
	バリアフリー	演	1	15	鉄道受発対策	講	1	15	エクササイズⅠ	演	2	52	エクササイズⅡ	演	2	52				
	デジタルスキルⅠ	演	2	30	デジタルスキルⅡ	演	2	30	Station EnglishⅠ	演	1	26	Station EnglishⅡ	演	1	26				
									卒業制作Ⅰ	演	1	26	卒業制作Ⅱ	演	1	26				
	小計			20	300	小計			21	315	小計			17	442	小計			14	364
	1年前期 合計			26	390	1年後期 合計			29	435	2年前期 合計			19	494	2年後期 合計			17	442
1年 合計								55	825	2年 合計									36	936
2年間 総合計																			91	1,761
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期							
	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 中村学園祭				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭 SPT							

共通科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキル			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：宮崎 愛子・愛澤 純子・野田 てるみ				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的な PC 操作を理解するとともに、Word Excel の基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excel を使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	・「30 時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USB メモリ				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 26 時間 後期 : 26 時間
担当	講師名 : Native teacher				
	実務経験 : 有・ ☐ 無	実務経験内容 :			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	☐ なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review of weeks 1-4		5 Review of weeks 1-4		
	6 Asking about & giving prices		6 Talking about past events		
	7 Bargaining for a lower price		7 Asking about past events		
	8 Talking about frequency		8 Introducing news & reacting to news		
	9 Describing features		9 Talking about future plans		
	10 Review of weeks 6-9		10 Review of weeks 6-9		
	11 Test preparation		11 Test preparation		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ			科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース 2 年生			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：26 時間
担当	講師名：井部・須田（礼）・橋本（幸）				
	実務経験：有・無	実務経験内容：			
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。				
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	秘書検定合格教本 2・3 級 新星出版社（1 年次購入済み）				
授業計画	1 年金・税・保険の知識				
	2 組織（役職）と部門について				
	3 慶弔に関する知識とマナー				
	4 領収書の記入方法				
	5 その他ビジネス用語				
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換				
	7 上座・下座				
	8 企業訪問 実践ロールプレイ				
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方				
	10 電話応対 実践ロールプレイ				
	11 上手な聞き方、話し方				
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方				
	13 まとめと振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

鉄道・交通サービスコース

専門科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道基礎Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：2 単位	時間数	前期：52 時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験：㊦・無	実務経験内容：京王電鉄にて 11 年勤務			
授業概要	1 年次に学んだ鉄道の基礎知識をさらに深めるとともに、昨今の鉄道業界で求められる接客サービスについて学ぶ。				
到達目標	社会人として求められる知識、考え方、接客能力を身につける。				
検定資格	㊦・必修・任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	1 1 年次の振り返り				
	2 CS とは				
	3 鉄道会社の考えるCS				
	4 JR西日本の取り組みを探る				
	5 鉄道業界のCS ランキング				
	6 各社の取り組み				
	7 敬語の学び				
	8 社会人としての心構え				
	9 運転取扱実施基準の振り返り 1				
	10 運転取扱実施基準の振り返り 2				
	11 運転取扱実施基準の振り返り 3				
	12 テスト対策				
	13 テスト返却				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道業務実務Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：3 単位	時間数	前期：52 時間 後期：78 時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験： ⑦ ・ 無	実務経験内容：京王電鉄にて 11 年勤務			
授業概要	1 年次で学んだ実務の基本に加え、異常時の対応や運転など、より実戦的なロールプレイングをすることにより、鉄道業界で働くということを体感します。また、鉄道業界で働くうえで必要な考え方や、行動力を身につけます。				
到達目標	日常的な作業をこなすだけでなく、その時の最適解を導き出し行動できる人材になる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	1 異常時の対応方法		1 動力車操縦者試験について		
	2 駅務・車掌乗務実践 1		2 線見・基本的な運転と基本制動		
	3 駅務・車掌乗務実践 2		3 運転練習 1		
	4 駅務・車掌乗務実践 3		4 運転練習 2		
	5 駅務・車掌乗務実践 4		5 運転練習 3		
	6 駅務・車掌乗務実践 5		6 運転練習 4		
	7 駅務・車掌乗務実践 6		7 運転練習 5		
	8 駅務・車掌乗務実践 7		8 運転練習 6		
	9 駅務・車掌乗務実践 8		9 運転練習 7		
	10 駅務・車掌乗務実践 9		10 運転練習 8		
	11 駅務・車掌乗務実践 10		11 運転練習 9		
	12 実技試験		12 実技試験		
	13 テスト返却		13 テスト返却		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	鉄道イベントプロモーションⅢ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：52 時間 後期：52 時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：ツアー・イベントの企画、実施経験あり			
授業概要	昨今の鉄道業界では、日常業務のみならず集客できるイベントを立案から実施まで行うことが求められており、実際に鉄道を題材にしたイベント等を企画・立案・製作・実施まですべて行うことにより、社会に出るからの業務に生かす経験を積みます。				
到達目標	企画から実施までをやり遂げる。				
検定資格	(なし)・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし				
授業計画	1 企画の作り方		1 商品開発の仕方		
	2 企画書の書き方		2 企画立案 1		
	3 企画立案 1		3 企画立案 2		
	4 企画立案 2		4 企画立案 3		
	5 企画立案 3		5 企画発表・商品の制定		
	6 企画発表・企画の制定		6 商品についての検討 1		
	7 準備 1		7 商品についての検討 2		
	8 準備 2		8 商品についての検討 3		
	9 準備 3		9 中間報告		
	10 準備 4		10 商品についての検討 4		
	11 準備 5		11 商品についての検討 5		
	12 準備 6		12 商品化		
	13 テスト返却		13 テスト返却		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	時刻表実務Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期：1 単位	時間数	前期：26 時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験：(有)・無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。				
到達目標	・業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書教材	「JR 時刻表 4 月号」（交通新聞社）				
授業計画	1 1 年時の振り返り、ダイヤ改正情報まとめ				
	2 乗継早見表と運賃料金早見表（自由席・グリーン）				
	3 総合演習問題（区間外乗車）				
	4 総合演習問題（団体割引）				
	5 総合演習問題（特定都区市内制度）				
	6 乗継早見表と運賃料金早見表（新幹線と在来線）①				
	7 乗継早見表と運賃料金早見表（新幹線と在来線）②				
	8 乗継早見表と運賃料金早見表（自由席・グリーン車）				
	9 乗継早見表と運賃料金早見表（通過連絡運輸）				
	10 総合演習問題（JR・バス・航空機複合）①				
	11 総合演習問題（JR・バス・航空機複合）②				
	12 期末試験対策				
	13 期末試験解説				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	観光科 トラベルアウトドアコース / 鉄道科 鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名： 松川 信也				
	実務経験： 有・無	実務経験内容：元旅行添乗員。旅行コンサルティング 会社経営。総合旅行業務取扱管理者			
授業概要	1 年次に学習した日本全国の観光資源に関する知識を更に深め、国内旅行の実務を行う上での必要知識を高めながら、「観光を楽しむ」手段としての地理も学ぶ。				
到達目標	1.国内旅行の実務上必要となる主要な観光資源の内容を説明できる。 2.インバウンドビジネスについての理解を深める。 3.「観光を楽しむ」手段としての「駅弁」「日本神話」「パワースポット」を説明できる。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：国内旅行業務取扱管理者 世界遺産検定				
教科書 教材	「国内観光資源」(JTB 総研)－1 年次に使用したもの 「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)－1 年次に使用したもの				
授業計画	1 2025 国内旅行の主要動向	1 日本の主要「駅弁」(1)－駅弁の歴史			
	2 日本の温泉地(1)－九州	2 日本の主要「駅弁」(2)－東日本			
	3 日本の温泉地(2)－中国・四国	3 日本の主要「駅弁」(3)－西日本			
	4 日本の温泉地(3)－近畿	4 日本の主要「駅弁」(4)－まとめ			
	5 日本の温泉地(4)－中部地方	5 日本神話の舞台(1)－「国生み」			
	6 日本の温泉地(5)－関東	6 日本神話の舞台(2)－「天岩戸」			
	7 日本の温泉地(6)－東北	7 日本神話の舞台(3)－「八咫のオロチ」			
	8 日本の温泉地(7)－北海道	8 日本神話の舞台(4)－「因幡の白ウサギ」			
	9 インバウンドビジネスの動向(1)	9 日本神話の舞台(5)－「天孫降臨」			
	10 インバウンドビジネスの動向(2)	10 日本のパワースポット(1)「武運」			
	11 インバウンドビジネスの動向(3)	11 日本のパワースポット(2)「金運」			
	12 観光資源個別テーマ(1) 神社仏閣	12 日本のパワースポット(3)「縁結び」			
	13 観光資源個別テーマ(2) 食文化	13 日本のパワースポット(4) まとめ			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内管理者対策講座Ⅴ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 2 単位	時間数	前期 ： 52 時間
担当	講師名：舟寶 加代子				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：旅行会社にて国内海外実務の経験あり。			
授業概要	JR 貸切バス・フェリー運送・宿泊機関の運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。授業内では国内旅行実務に沿った JR 運賃料金の計算などの基礎内容を学習しつつ、過去の問題やプリントで確認していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「国内運賃・料金」（J T B 総研） 過去問題プリント				
授業計画	1 J R 運賃の基本原則		1 確認テスト		
	2 幹線と地方交通線について		2 確認テスト		
	3 運賃の異なる会社間について		3 通過連絡運輸、連続運賃について		
	4 J R 運賃計算の特例・各種割引運賃		4 特定区間、特定都市発着の運賃について		
	5 往復割引、学生割引について		5 団体割引運賃について		
	6 J R 料金の基本的な考え方について		6 新幹線の特急料金について		
	7 特急料金の変動について		7 山形・秋田新幹線の料金について		
	8 有効期間、払い戻し手数料について		8 確認テスト		
	9 貸し切りバス運賃料金について		9 確認テスト		
	10 フェリー運賃料金について		10 確認テスト		
	11 宿泊料金について		11 確認テスト		
	12 過去問題練習		12 過去問題練習		
	13 期末試験		13 期末試験		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内管理者対策講座Ⅵ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 26 時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験 ： 有	実務経験内容：旅行会社の営業及びコールセンターにて実務経験あり。			
授業概要	1 年次から引き続き旅行業法と約款の知識を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験を受験する際に必要な知識の習得				
検定資格	任意 名称：国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	「旅行業法」「旅行業約款」（J T B 総研） 過去問題プリント				
授業計画	1 業法①（登録・営業保証金・旅行業務取扱管理者）				
	2 業法②（料金の掲示・取引条件の説明・書面の交付）				
	3 業法③（外務員・広告・標識）				
	4 業法④（旅程管理・禁止行為）				
	5 業法⑤（受託契約・旅行業者代理業者・廃止・業務改善命令）				
	6 業法⑥（旅行業協会・まとめ）				
	7 約款①（募集型：総則・契約の締結・契約の変更）				
	8 約款②（募集型：契約の解除・団体・グループ契約・旅程管理）				
	9 約款③（募集型：責任・旅程保証、受注型での変更点）				
	10 約款④（特別補償規程）				
	11 約款⑤（手配旅行・旅行相談契約）				
	12 約款⑥（まとめ）				
	13 期末テスト返却 及び 回答・解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人教養Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期 ・ 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：石神 直人、立石 智之				
	実務経験： 有 ・ 無	実務経験内容：			
授業概要	グローバル化や日本社会の変化に伴う人々の意識や価値観の変化も関係している中で、本講座では、時事問題解説ではなく、様々な分野をについて教養を深める講座を目指します。内容は経済、地域社会などと多岐にわたりますが、いずれも今後の社会人生活や世界を視野に入れるうえで重要な視点となります。				
到達目標	卒業後の社会人生活における問題点などがあった場合、自主的に解決もしくは相談できるような知識を持ち、より良いキャリアデザインを描けるようになってほしい。				
検定資格	なし ・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし (適宜、プリントを用意します)				
授業計画	1 学生から社会人へのマインドリセット①		1 社会人コミュニケーション④		
	2 学生から社会人へのマインドリセット②		2 社会人コミュニケーション⑤		
	3 ビジネスマナーの習得（接客・対客）①		3 社会人基礎（新入社員について）①		
	4 ビジネスマナーの習得（接客・対客）②		4 社会人基礎（トラブル対応）②		
	5 ビジネスマナーの習得（電話応対）①		5 社会人基礎（ビジネスマナー）③		
	6 ビジネスマナーの習得（電話応対）②		6 社会人基礎（コンプライアンス）④		
	7 ビジネスマナーの習得（電話応対）③		7 基礎教養（経済と金融）①		
	8 ビジネスマナーの習得（社内応対）①		8 基礎教養（経済と金融）②		
	9 ビジネスマナーの習得（社内応対）②		9 基礎教養（経済と金融）③		
	10 社会人コミュニケーション①		10 基礎教養（経済と金融）④		
	11 社会人コミュニケーション②		11 総合学習①（宴席でのマナー）		
	12 社会人コミュニケーション③		12 総合学習②（新人としての在り方）		
	13 テスト返却		13 テスト返却、まとめ		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験及び授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験及び授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験及び授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験及び授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルアウトドアコース・鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：飯塚佳代				
	実務経験：有・無	実務経験内容：手話講師・手話通訳士			
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定 6 級 5 級 4 級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。				
到達目標	1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：手話技能検定 4 級または 5 級				
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト 5・6・7 級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト 3・4 級（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6 級単語：あいさつ・自己紹介・反応・		1 聴覚障害者と法律① 4 級単語：人間・食べ物・動物・指文字総合復習		
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6 級単語：天候・疑問・数字・時制・指文字①		2 聴覚障害者と法律② 4 級単語：生活・スポーツ・趣味・指文字総合復習		
	3 手話とは③ 6 級単語：人・家族・指文字②		3 ろう文化とは 4 級単語：感情・乗り物・指文字総合復習		
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6 級単語：色・方角・指文字③		4 デフリンピック① 4 級単語：形容詞副詞①・指文字総合復習		
	5 接客手話とは 6 級単語：感情・動作・指文字④		5 デフリンピック② 4 級単語：形容詞副詞②・指文字総合復習		
	6 世界の手話 手話検定 6 級模試（指文字なし）		6 耳の構造と補聴器 4 級単語：社会施設①・指文字総合復習		
	7 コミュニケーション方法① 5 級単語：疑問と時間・自然・指文字⑤		7 聴力レベルと障害者手帳 4 級単語：社会施設②・都道府県①・指文字総合復習		
	8 コミュニケーション方法② 5 級単語：自然・家族・趣味・程度・指文字⑥		8 マークいろいろ① 4 級単語：都道府県②・指文字総合復習		
	9 コミュニケーション方法③ 5 級単語：基本動詞・指文字⑦		9 マークいろいろ② 4 級単語：都道府県③		
	10 コミュニケーション方法④ 5 級単語：形容詞・指文字⑧		10 聴覚障害者トピック 4 級単語：動詞		
	11 コミュニケーション方法⑤ 5 級単語：指文字⑨・6 級指文字		11 ゲストを迎える準備・質問練習		
	12 手話検定 5 級模試と答え合わせ		12 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる		
	13 試験返却&振り返り		13 試験返却&振り返り		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅠ・Ⅱ			科目区分	専門必修
対象	観光科トラベルアウトドアコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 ☐ 前期・ ☐ 後期	単位数	前期：2 単位 後期：2 単位	時間数	前期：52 時間 後期：52 時間
担当	講師名：北原 大輔				
	実務経験： ☐ 有・ ☐ 無	実務経験内容：スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。				
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践（自己目標の設定）				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意				
授業計画	1 自己紹介、授業説明		1 体力測定		
	2 体力測定		2 コーディネーショントレーニング		
	3 体力測定 2		3 バランストレーニング		
	4 コーディネーショントレーニング		4 筋トレ（上半身）		
	5 バランストレーニング		5 筋トレ（下半身）		
	6 心拍数、運動強度講習		6 腹筋		
	7 ウォーキング		7 ウォーキング		
	8 ランニング		8 ランニング		
	9 筋トレ（上半身）		9 筋トレ（上半身）音に合わせて		
	10 筋トレ（下半身）		10 筋トレ（下半身）音に合わせて		
	11 ボクササイズ		11 キックボクササイズ		
	12 球技		12 球技		
	13 測定テスト		13 測定テスト		
成績評価 方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。				
成績評価 基準	A：授業内期末試験 70 点以上、出席率 90%以上、平常点 15 点以上 優 B：授業内期末試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点 10 点以上 良 C：授業内期末試験 30 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上 可 D：授業内期末試験 30 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	Station English I・II			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 ☐ 前期・ ☐ 後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：26 時間 後期：26 時間
担当	講師名：Robert Endo-McCabe				
	実務経験：有・ ☐ 無	実務経験内容：			
授業概要	To develop students English skills for railway related situations and build confidence in communicating with native English speakers.				
到達目標	To allow students to practice relevant conversation for the railway industry.				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	Station English (original text)				
授業計画	1 Tickets and prices		1 Greeting customers and the JR Pass		
	2 Station facilities		2 Months and time		
	3 Giving train information		3 Seat availability and ticket sales		
	4 Directions for train stops		4 Methods of payment		
	5 Discussing length of time		5 Recommending places to visit		
	6 Departure times		6 Discussion popularity		
	7 Getting to the right platform		7 Discussing modes of transport and distance		
	8 Giving and confirming destinations		8 Recommending activities		
	9 Delays information and reasons		9 Talking about Mt Fuji		
	10 Giving street directions		10 Discussing souvenirs		
	11 Discussing ticket validity and explaining tickets		11 Recommending places to shop/visit		
	12 Speaking test		12 Speaking test		
	13 Lost tickets and fare rules		13 Talking about Japanese etiquette		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	卒業制作Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門必修
対象	観光科トラベルアウトドアコース、鉄道科鉄道交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年 ☐ 前期・ ☐ 後期	単位数：2単位	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：立石 智之				
	実務経験：有・ ☐ 無	実務経験内容：			
授業概要	卒業までの1年間で、今まで学んできた多くのことを生かしながら自分の考えた内容を発表するために調査・研究を行い、レポートにまとめます。内容は各自で考えて行うため、自身の興味のあることや関心をもって主体的に行う授業となります。				
到達目標	社会人として卒業する前の心構え、対応を行い、自身の主張を論理だてて説明することが出来る。				
検定資格	☐ なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）				
授業計画	1 卒業制作概要説明、テーマ決めの調査		1 課題発表及びチーム決め、テーマ決めの調査		
	2 テーマ決めの調査・決定		2 テーマ決めの調査・決定		
	3 調査開始①		3 調査開始①		
	4 調査開始②		4 調査開始②		
	5 調査開始③		5 調査開始③		
	6 題材確認及び中間発表準備		6 題材確認及び発表準備		
	7 中間発表①		7 成果発表①		
	8 中間発表②		8 成果発表②		
	9 追加調査及び追加研究①		9 追加調査及び追加研究①		
	10 追加調査及び追加研究②		10 追加調査及び追加研究②		
	11 追加調査及び追加研究③		11 追加調査及び追加研究③		
	12 最終発表①		12 最終発表①		
	13 最終発表②		13 最終発表②		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価課題及び授業理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価課題及び授業理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価課題及び授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価課題及び授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	SPT			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	後期：1 単位	時間数	後期：26 時間
担当	講師名：中山 健也				
	実務経験： ⑤ ・ 無	実務経験内容：鉄道会社にて駅員、乗務員経験あり。			
授業概要	グループで旅行の企画・プレゼンテーションを行い、そして旅行企画が採用されれば実際にその旅行に行く SPT (Self Produce Travel)。これまで学んだ鉄道の知識、地理の知識をフルに活用し鉄道科ならではの旅行を組み立てよう。				
到達目標	グループワークを基として、自分たちならではの旅行を組み立てる。 また、人前で自分たちの企画を発表することにより自主性や相手の立場に立った行動（お客様目線）を理解し、業界で働く上での基礎とします。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書教材	特になし				
授業計画	1 授業概要説明、グループ分け				
	2 グループ行程表の作成①				
	3 グループ行程表の作成②				
	4 グループ行程表の作成③				
	5 グループ行程表の作成④				
	6 発表（行先・1 日目の行程確定）				
	7 個人行程表の作成①				
	8 個人行程表の作成②				
	9 出発にあたり最終確認				
	10 現地実習				
	11 現地実習				
	12 現地実習				
	13 現地実習				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：出席率 90%以上、グループワーク参加意欲大、平常点 優 B：出席率 80%以上、グループワーク参加意欲中、平常点 良 C：出席率 60%以上、グループワーク参加意欲小、平常点 可 D：出席率 60%未満、グループワーク参加意欲無、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	自己表現Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科 交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2 年 後期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 26 時間
担当	講師名：響 丈				
	実務経験 ： ㊦ ・ 無	実務経験内容：ボイストレーナー経験あり			
授業概要	自らの思いを相手に伝えるための技術を、ボイストレーニングやナレーション、演技で学ぶことで、面接試験や職場でのコミュニケーションに役立てます。				
到達目標	コミュニケーションが取れ、きちんと物事を伝えられるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布				
授業計画	1 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 1				
	2 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 2				
	3 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 3				
	4 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 4				
	5 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 5				
	6 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 6				
	7 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 7				
	8 インプロビゼーション（即興力のトレーニング） 8				
	9 エチュード 1				
	10 エチュード 2				
	11 エチュード 3				
	12 試験対策				
	13 テスト返却				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				